

竹の子会の基本目標

1. 人間形成への修練
1. 地域社会への奉仕
1. 会員相互の親睦



竹の子会会報

No.582

竹の子会総務委員会

平成28年7月14日

第61期スローガン

「原点回帰～伝統と革新を融合させて新たなる一步を～」



第61期
会長

林 優文

この度、伝統ある大垣竹の子会の第53代会長を務めさせて頂くことになり、栄誉ある要職に大変光栄であるとともに、責務の重さに身の引き締まる思いでございます。

大垣竹の子会は昭和31年に水無月会として発足し昨期で60年を迎えました。人と言いますと還暦を迎えたこととなります。すべての方が一度今までの人生を振り返り、新たなる一步を踏み出す時であると思います。大垣竹の子会も同様に、今までの活動の歴史を振り返ることが必要ではないかと思えます。

私は46期に入会し16年目を迎えます。今までの15年間で社会経済は大きく変わりました。現在も刻々と変化し続けております。大垣竹の子会も同様に、入会当時とは大きく変わりました。会員数が半分以下になり、入会希望者の確保に難しさが増しました。さらには会員一人ひとりの職場・生活環境なども、15年前とは大きく異なってきたと感じております。そういった中でこれまで通りの活動を続けて行く事が、本当に会員にとって、会にとって良いのかと疑問に感じております。

そこで、今期のスローガンは『原点回帰 ～伝統と革新を融合させて新たなる一步を～』とさせて頂きました。

一度、大垣竹の子会の活動すべてを見直してみたいと思います。そこでただ事業数を減らし、事業内容を楽にするのではなく、今の環境に合った事業を考え、さらに会員全員でなぜ大垣竹の子会に入会し

たのか、何の為に活動するのか、自分自身は何をしたいのか、どうなりたいのかなどといった原点へ戻り、活動内容を考えていきたいと思っております。

今まで諸先輩方が大切に続けられてきた事業を一度振り返り、精査したいと思います。その為、諸先輩方には当時のお話、経験談をお聞きすることもあると思います。その際には是非お力添えをよろしく願いいたします。そしてこの伝統、情熱ある大垣竹の子会を次世代に引き継げるよう誠意を尽くしてまいります。

今期は新たに6名の新入会員が仲間に加わりました。新入会員の皆様におかれましては、先輩会員と共に経験を積み、大垣竹の子会の活動で学んだ事を少しでも日々の生活に生かしていただきたいと思えます。

また、4月よりスタートをしております大垣市青年のつどい協議会は当会の山下洋平君が会長として活動を行っております。山下会長と共に両会の発展、また地域への貢献が出来る様協力してまいります。

最後となりますが、会長という大役を与えて頂いたことに感謝しつつ、私自身まだまだ未熟者でございます。現会員と共に歩み成長していくことに努力してまいりますので、特別会員を始め、関係各位の皆様にはご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



第60期を終えて



第60期
会長
永井 清睦

第60期会長を務めさせて頂きました57期入会の永井清睦です。この度会長の任期を終えるにあたり、一年間御尽力頂きました現役会員の皆様、並びに多大な御支援、御協力を賜りました特別会員の皆様に心より御礼申し上げます。一昨年の暮れに会長予定者として拝命致しましてから、不安と緊張で落ち着かない日々を過ごした半年間、そして直前会長が居ない事、私自身が常任すら経験した事が無いという厳しい状況の中、自力で術をかき集めながら、とにかく精一杯の姿勢で尽くしてまいりました会長としての一年間が、ようやく幕を下ろしました。

振り返ればあっという間の一年でございました。会員オリエンテーションに始まり、「和を以て貴しと為す～熱く燃ゆる竹の子魂を抱け！～」というスローガンを掲げ、「再び竹の子会の元気を取り戻したい！」と所信表明させていただいた総会懇親会。もうすっかり我々の顔と名前を憶えていただき、子供たちや御家族、会員までもが夢中になって楽しんで交通遺児夏の集い。特別会員の皆様に担ぎ手および練り歩きで御協力を賜り、どの神輿よりも勇ましく華やかに大神輿を担ぎ上げることが出来た十万石ふるさとまつり。少子化と聞き慣れた時代といえども、多くの子供たちが賑わいをみせた万灯流しや写生大会などのつどい事業。会員が家族に接する優しく温かい眼差しを垣間見る事が出来た、会員親睦会並びにクリスマス家族会。そして今後の勧誘活動に活かすべく、今一度大垣竹の子会の強みについて意見交流を行った講師例会。私が57期に入会させて頂いて以来、様々な場面で助けて頂き大変お世話になった先輩方の御卒業と、思い起こすと尽きる事無く、一つ一つ鮮明に蘇ってまいります。中でも今期最大の事業となりました60周年記念事業「竹の子フェスタ」の開催におきましては、子供たちが喜ぶ

催し物を入念に企画し、子育て日本一を掲げるここ大垣市に相応しい事業を創る事が出来たと思っております。数え切れないほどの子供たちの笑顔で大盛況に終わり、また様々なところからお褒めの言葉もいただけるなど、大変思い出深い事業となりましたことは言うまでもございません。

経験の浅いまま会長という大役を仰せつかり、まして60周年の記念期でもあり、果たして私に務まるであろうかと不安からのスタートでございました。おそらく皆様もただただ御心配の気持ちで60期を迎えられた事と思います。しかし、入会してからの3年間で多くの事業を経験し、多くの人脈にも恵まれ、多くの事を学ばせて頂いた竹の子会。その竹の子会の為になるならば、有り難くお受けさせて頂き、私の成せる形で精一杯やろうと決意致しました。時には難しい注文をした事もあったかもしれませんが、こうして任期終了まで忍耐強くお付き合い頂きました常任メンバーをはじめ、滞りない事業の遂行にご協力を賜りました会員の皆様には感謝の気持ちで一杯でございます。この一年間、思いが届かず悔しい思いをした事や、仲間とのたわいないやり取りに大笑いした事、心身ともに苦労した事もございましたが、どれをとっても私自身の成長につながる大切な経験となりました。本当に有難う御座いました。

今期の経験を活かし、卒業まで変わらず当会を全力で盛り上げてまいります事を御約束致しますと共に、第60期が皆様の御支援、御協力のもと無事に終了を迎えられます事を改めて御礼申し上げます、御挨拶とさせていただきます。



委員長あいさつ



奉仕委員会
委員長
名和 良能

この度、第61期奉仕委員長を務めさせて頂くことになりました、58期入会の名和良能です。この奉仕委員会という竹の子会には、なくてはならない委員会の委員長を担うことになり、私に務まるか、今でも不安やプレッシャーに負けそうなくらいです。

しかし、引き受けた以上は、この大役を務めていきたいとおもいます。

なにも分からない未熟な私ではございますが、1年間よろしくお願ひします。



渉外委員会
委員長
松田 年雄

50期入会の松田でございます。今期は、渉外委員長をさせて頂く事になりました。事業内容は、つどい3大事業と3月度例会の会員親睦会を受け持っております。つどいの方では、山下洋平君を第45期大垣市青年のつどい協議会会長として輩出しておりますので、例年以上につどい3大事業を盛り上げていきたいと思ひます。特に、第44回みどりの街づくり写生大会におきましては、先日ご卒業されました日比野直哉OBが実行委員長をされ、その事務局長を私が担当し

ておりますので、3大事業の中で1番良かったと言ってもらえるような事業にしていきたいと思ひます。また、会員親睦会では、川上副会長をはじめ、副委員長の米山君、野原君、斉藤君という心強いメンバーと共に最後まで活動できることを嬉しく思ひます。私としましても竹の子会の事業を作り上げるのは、最後となります。悔いの残らないよう一生懸命に取り組み、そして一番思い出に残るあたたかい事業をつくりあげることができるよう活動してまいります。最後になりますが、会員の皆様と一緒に良い事業を作っていきたいと思ひます。どうぞ1年間よろしくお願ひ申し上げます。



教養委員会
委員長
渡部 道德

61期教養委員長を務めさせて頂くことになりました52期入会の渡部です。

今までは副委員長などを務めさせて頂きいただき委員長を支える裏方に徹して参りましたが、入会させて頂きいただければ現役会員の中でも古株となり、今回委員長を

受けさせて頂き、入会して今まで会に参加して気づいたこと、会員人数減少により考え直さなければならぬことを林会長とともに変えていければと思ひます。微力ではございますが会の力となれますよう務めてまいりますので、皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願ひします。



総務委員会
委員長
中島 康路

皆様こんにちは。第59期入会、今期総務委員長を務めさせて頂きます中島康路です。竹の子会に入会して、3年目となりますが、これまで教養委員会、親睦委員会に所属し、先輩方から多くの大切なことを学びました。今期の総務委員会では、竹の子会の総務業務以外にも月例会（総会懇親会、新年互礼会、卒業生を送る会）の企画運営を担当させて頂きます。これまでの委員会活動で学んだことを最大限に活か

し、迅速で正確な総務業務、より良い月例会の開催を目標としたいと思います。今期のスローガン「原点回帰～伝統と革新を融合させて新たな一歩を！～」のもと先輩方が築き上げてこられた伝統を守り、竹の子会としての革新につながる活動が総務委員会として行っていけるよう努力したいと思います。

最後になりますが、初めての委員長ということで、総務委員会の皆様や多くの方にご迷惑をおかけするかと思います。精一杯頑張りますので、ご指導、ご協力のほどよろしくお願ひいたします。

卒業生を送る会

日時：平成28年6月25日（土） 場所：大垣フォーラムホテル



第60期
親睦委員会
今西 勇人

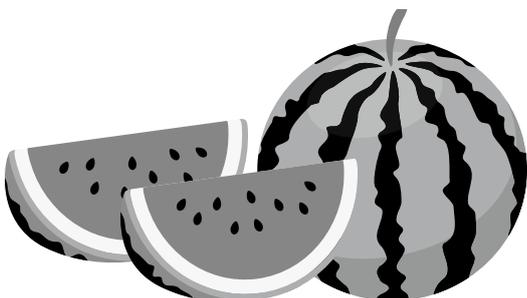
会員の皆様こんにちは。第60期入会の今西勇人です。6月25日（土）、大垣フォーラムホテルにて卒業生を送る会が盛大に執り行われました。今回は6名の卒業生が卒業されるという事で、長きに渡りご活躍されてきた諸先輩方の大きな節目を盛大にお祝いしようと、私達親睦委員のメンバーは試行錯誤しながら事業計画を進めて参りました。渡邊副会長、川上委員長を初めとしてアトラクションの内容やスライドショーなど、どうしたら会場が盛り上がり、卒業生の方々にいかに喜んでいただけるのかを真剣に考え取り組んできました。結果、当日のスライドショーでは様々な事業の思い出が蘇り、多くの笑いと感動に包まれました。またアトラクションである一問一答のクイズでは、卒業生だけでなく現役会員やOB会員の方々にも思い出や失敗談など語っていただきました。そんな中特に印象深かったのが、三宅副会

長が涙汲む場面がありました。私はそれを見て、まさに今期のスローガンである“熱く燃ゆる竹の子魂”を見た気がしました。様々な場面でぶつかり合い支えあったからこそ、その様な熱い思いが込み上げるのだと思い、私自身もぜひ見習いたいと感じた瞬間でした。

事業の運営については至らぬ点多々あったかと思いますが、多くの方々にお褒めの言葉をいただいたのと同時に、何より卒業生の方々に喜んでいただけたので、大成功と言っても過言ではないかと思います。

最後になりますが、今回ご参加いただきました現役会員、特別会員の皆様、卒業生の皆様のご協力のおかげで無事に事業を終える事が出来ました。この場を借りて厚く御礼申し上げます。そしてご卒業されました皆様、今後の益々のご活躍を祈念するとともに、更なる竹の子会の発展のためにご指導、ご鞭撻のほど宜しくお願い致します。

7 8 月の予定



例会（総会懇親会）

日 時：平成28年 7月22日（金）
場 所：大垣フォーラムホテル

例会（水門川万灯流し）

日 時：平成28年 8月6日（土）
場 所：水門川一帯